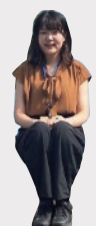


イベント

Table of events including '青衣展', '大西文香写真展', 'そうべつ夕涼み会', 'Hikobayu pop up fair', 'Catch The Chord BOTAN & sumire', 'オクトーヤフェストキャンプ', 'モイ・マルケッティ (マルシェイベント)', 'インドの手仕事 / muniヴィンテージカンタ展', 'コビト祭り', '旅する Kanmi.', 'BOOK FAIR 2024 with アノニマ・スタジオ 旅する灯台フェア'

プロフィール 4月から洞爺湖芸術館に学芸員としてやってきました小八木(こやぎ)と申します。作品だけでなく景色も楽しめる洞爺湖芸術館。盛り上げる一助になれるよう頑張ります!

洞爺湖芸術館 洞爺湖町洞爺町 96 9:30~17:00 月曜 toyakomuseumofart



新学芸員 小八木さんが教える もっと楽しむ! 洞爺湖芸術館

洞爺湖芸術館では抽象的な立体作品を多く展示しています。抽象作品は見方が難しいと思われがちですが、6月に見学に来てくれた洞爺温泉小学校の子どもたちは、作品を身近なものに結び付けて楽しそうに鑑賞してくださいました。ぜひ、来館者の皆様にも色々な角度から作品を楽しんでいただき、洞爺湖芸術館でいろいろな発見をしていただけたらうれしいです。

作品鑑賞のコツ

- 1. まずは作品を見たまを感じる
2. そのあとで、作品の情報から、なぜ作者はこのタイトルでこの形づくりをしたのかといった想像を膨らませて鑑賞する



「春遊台」 作者：加治晋 象みたい!



「季面」 作者：砂澤ビッキ 鶏みたい!

剣みたいで かっこいい!

「Obelisk」 作者：Alvarez Ernesto

ズクズク登場! 新店舗情報



地元食材を炭火で提供

アペコロ

平日 11:00~15:00, 17:00~21:00 (L.O.20:00) 土日祝 11:00~21:00 (L.O.20:00) 休 第1水曜、木曜 (水曜はランチのみ営業) @ sumibidining\_apekoro



こだわりランチと 無農薬米粉の焼き菓子

めぐりや

11:00~17:00 火曜 @ meguriya\_toya



名古屋から持ってきた 秘伝のカツソースが自慢

洋食屋 fuji

11:00~14:00, 18:00~21:00 休 木曜 @ 090-8271-8593



財田米と洞爺の食材で作る 白米と雑穀米のおにぎり と豚汁

tanto

11:00~14:00 休 木、金、土曜 @ tanto.toya



野菜ベースの日本料理 可能な限りご予約を

いわきち料理店

11:00~15:00 (L.O.13:30) ,17:30~ 休 木、金、土、日曜 (木曜は惣菜販売も) @ iwakichi.toya



まちなか交流館ヴァロアの キッチンを借りて移転オープン

金沢屋

11:00~14:00 休 木曜 @ kanazawa\_ya

LAKE TIMES

レイクタイムズ No. 04

洞爺湖のほとりの、ぐるりのこと。この場所に大切なものを見出して暮らす、わたしたちの新聞。

編集ライティング写真 森高まき (たまたま舎) デザイン 青山剛士 (drop around) イラスト スギモトアオイ 広報 渡辺沙央子 アドバイザー ZERODAY

制作 どうや子プレス 発行 2024年8月9日 発行元 レークヒル・ファーム

あとがき

今号は湖畔での遊び方の特集と新たに洞爺湖芸術館の学芸員小八木さんのコラムがスタートしました。洞爺湖や周辺の山々は長い時間と自然が作り、彫刻や景観は先人の苦勞の上に出来上がっています。私たちはそれをお借りして大切に扱い、次世代に引き継がないといけないと考えております。紙面の都合上、全文を載せることは出来ませんが洞爺湖利用ルールの QR を載せております。しっかり確認し、全力で洞爺湖を楽しんでください。(レークヒル・ファーム 塩野谷通)

特集を制作していて印象的だった話があります。それは、「数年前まで湖の衛生状態はとても悪くて、湖に入るなんてできなかった」という話です。排水が整備された今ではあたりまえのように湖で遊べます。感謝しながら、その恩恵を存分に味わいたいですね。(森高まき)



LAKE TIMES 設置店 募集! @ laketimes\_toya

本誌へのお問い合わせはこちら: toyakopress@gmail.com 本誌からの無断転載を禁じます。 Copyright © LAKETIMES

TAKE FREE

LAKE TIMES

The surroundings of Lake Toya.

レイクタイムズ

Size: 273 x 406 mm Page: 008



洞爺湖の遊びかた 30

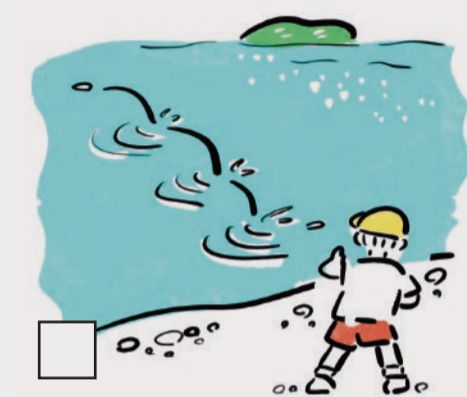
洞爺湖がもっとも身近に感じられる夏がやってきました! 今回の特集は、「THE レイクタイムズ」。地元民や洞爺湖が好きなあの人に聞いた、洞爺湖畔を遊び尽くす30の方法をご紹介します。ぜひ30個すべてにチェックを付けて、洞爺湖マスターになってください。過ごし方はきっと、洞爺湖を好きな人の数だけあるはず。載っていないアイデアがあれば、ぜひ編集部までお寄せください。

**0 LAKE TIMES を持って 洞爺湖を巡る**

これを読んでいるあなたはきっとすでにできている！その調子で洞爺湖を楽しみ尽くしてくださいね。(編集部/M)

**1 絶景の写真を撮る**

朝早く起きて、月浦側から朝日を狙って撮影するのが一番好きです。人も車も少なく、自分だけの時間が過ごせます。(札幌/Fさん)



**7 水切り対決**

湖の波打ち際でぼーっとしていたら、仲間の一人が石ころを湖に向かって投げる。そしたら突然始まるよね。(高台/Mさん)

**9 絵を描く**

湖で打ち寄せる優しい波の音や風などを感じながら、自然のなかで描くことでアイデアも湧いてきます。(札幌/Tさん)



**12 歩く**

毎週土曜日朝 9 時から、洞爺湖周辺の自然をみんなで歩く「3MILESClub」をやっています。詳しくは ZERODAY まで。(@zeroday\_toya)



**14 読書**

時間帯によって日陰の場所は変わるから、太陽の位置を見ながら場所を探します。できれば木陰のほうが捗ります。(財田/Mさん)

**2 犬・猫の散歩**

猫も幸せそうですが、景色を見ながら一息つく私にとっての至福の時間にもなっています。(財田/Mさん)



**4 洞爺湖八景をめぐる**

洞爺湖の美しい景観を満喫できる眺望スポットとして選定された、「洞爺湖八景」を知っていますか？全部巡って、それぞれの違いを知ってほしいです。(財田/Hさん)

**5 たそがれる**

洞爺湖は「遊び方」を定めなくても、何もなくても100点。暮れなずむ空と、おだやかな波音を聞きます。(Tさん)

**6 洞爺湖周遊バスで 湖畔を巡る**

札幌から支笏湖・洞爺湖を回る周遊バスや、屋根のないオープントップバスなどさまざまな観光バスが運行中です。自分にピッタリのツアーを探してみてください。(温泉/T)

**8 サイクリング**

ダイエットのために始めたのですが、洞爺湖の飲食店がおいしくて、結局体重が変わらないというループに入っています。(洞爺/N夫妻)



**10 一人湖畔酒盛り**

セイコーマートでビールを買って、TSUDOU で唐揚げを買って、湖を眺めながら昼から一人酒盛り。(洞爺/Yさん)



**13 鳥の羽根でペンを作る**

6 月になると鳥が羽根を落とすので、友人たちと誘い合って拾いに行き、ペンにしています。(洞爺/Aさん)

**15 湯めぐり、温泉タオル集め**

毎年 10 月 8 日はトーヤの日。洞爺湖町民は安く温泉に入れます！(温泉/Tさん)

**11 土器や食器、黒曜石探し**

昔は今よりずっと湖畔に暮らす人々の生活と地続きだった洞爺湖。生活が垣間見える食器の破片がたまに湖岸に流れ着いているんです。(温泉/Kさん)



**16 湖底の砂紋観察**

前日の天気によって毎日模様が変わるんだよ。砂鉄みたいな感じなんだ。すごきれいだよ。(洞爺/Kさん)

地元民・洞爺湖ラバーに聞いた／

# 洞爺湖の



**17 3月限定、水位が下がる場所の 湖畔パトロール**

湖の水位が下がる 3 月になると、普段は湖水に沈んで見えなかった場所まで歩けるんです！そこを観察するのが、春先の楽しみ。(財田/Hさん)

**19 ランニング**

温泉街から一周すれば、終了とともに温泉に入れて最高です。

**18 日がな一日クマを愛でる**

熊牧場といえば登別のイメージが強いですが、洞爺湖にもあるんです！「昭和新山熊牧場」で小熊を一日中観察してます。(壮瞥/Sさん)



**洞爺湖周辺のお店で買えるパン、焼き菓子、ドーナツで**

**21 湖畔ピクニック**

洞爺湖周辺には、パンやドーナツ、焼き菓子など、ピクニックにぴったりなお店が揃っています。各店で少しずつ調達して湖畔でピクニックするのが最高の時間♪(長万部/Nさん)

# 遊びかた 30



**22 湖に足をつける**

眺めるだけでなく、湖に足をつける。それだけで五感がとって刺激されてリラックスできます。(Dさん)



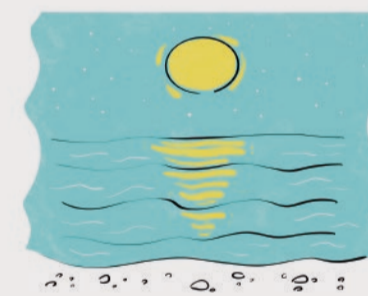
**23 昼チェックイン、夜キャンプ**

お休みにキャンプ場にチェックイン、テント設営して仕事に戻り、仕事終わってからキャンプ！キャンプ場に囲まれた洞爺湖だからこそできる、アウトドア好き地元民の楽しみ方。(温泉/Mさん)



**25 温泉スタンドで 温泉運んで絶景風呂**

洞爺町にある 100L50 円という破格で温泉が出てくる自動販売機。そこで温泉を汲み、タンクの風呂を用意して入る自前の露天風呂が最高！もちろん私有地でね。(財田/Mさん)



**26 満月の夜、月浦から湖面に浮かぶ月の道を見る**

洞爺湖の楽しみは昼だけじゃないんです。(財田/Hさん)

**24 大地とつながる アーシング**

アーシングとは、裸足で大地に足をつけて、地球を感じる。目の前に広がる大きな湖、広い空、ここでアーシングすると、全身で大地を感じることができます。(Hさん)

**27 カヌー**

朝早く、日が昇る少し前から湖に出ます。波のない凜の水面で愛犬と朝日を浴びる時間が何よりも幸せ。(札幌/Wさん)

**28 釣り**

海と比べてなかなか釣れないからこそ、かかった瞬間「脳汁」が出るんです。(洞爺/Yさん)



**29 森と木の里センターの天体望遠鏡で 星空観察**

壮瞥町側の湖畔の高台に、星空観察ができる展望台があることを知っていましたか？(壮瞥/Mさん)

**30 カヤック・SUP**

洞爺湖では安全に遊ぶためのルールがあります。(右記参照)

カヌー・カヤック・SUP など、非動力船を利用する際のルール

- ・ライフジャケットを着用する
- ・中島周辺の航行、上陸は禁止
- ・SUP での横たわる行為は避ける
- そのほかの注意事項はコチラをチェック



釣りのルール

洞爺湖で釣りを楽しむ際は、遊漁券の購入が必要です。遊漁券の販売先、遊漁期間や規則、禁漁区などについてはコチラをチェック



# 移住者が根付く理由、町に溶け込む方法、移住者の若手とベテランが語る

## 洞爺湖愛と語り合う

近年移住者が増え、楽しいお店も増えてきている壮瞥町。そんな壮瞥町に移住して3年の前橋さんと、47年の田中さんが移住のアレコレを語り合います。昔は移住者を受け付けない町だったって、本当？ どうしたら垣根なく混ざり合うことができる？ 移住者だからこそわかる町のいろんなことをざっくばらんに語ってもらいました。



人物紹介

前橋史子さん

青森県出身。壮瞥町移住歴3年。ヨツカド商店のコーヒー担当。8月末で地域おこし協力隊を卒業予定。卒業後も町に残り、町づくりに携わっていく予定。

トッシンさん

本名は田中文夫さん。釧路市出身。壮瞥町移住歴47年。「森と木の里センター」にある天文台の管理人を勤める星のおじさん。



前橋さん トッシンさんはかなり前に移住されたんですね。どこからでしたっけ？

トッシンさん 釧路だよ。77年の有珠山噴火のときに、復興事業で連れてこられたの。そしたらこっちの人と結婚することになって、天文台の管理人になって、気づいたら今。昔はもう、ひどかったんだよ、移住者に対するの態度が。「お前ら、何しにきたんだ」って。

前橋さん どう対応したんですか？

トッシンさん 男だし、もともと漁師の家系だからさ、ケンカしたよね。言い負かして、そしたらその噂が広がって、大丈夫になった。

前橋さん へえ〜！今の穏やかなトッシンさんからは想像できない。ちゃんと言い合うことも大切なんですね。

トッシンさん そう。そしたら急に仲良くなれるしね。言うこと聞いているだけじゃ、疲弊しますから。

前橋さん 今と全然違いますね。壮瞥町の人はみんな優しいし、外からの人ウエルカムって雰囲気があるし。どうして変わったんでしょうね。

トッシンさん 世代なんじゃないかな。もうあの頃の人はいないからね。

前橋さん 子どもたちも、分け隔てなくみんなに挨拶してくれますよね。

トッシンさん そうやって教えられてるからね。

前橋さん あと考えられるのは、壮瞥町って観光と農業の町じゃないですか。特に主力作物の果物は観光農園が多い。一帯で「くだもの村」と銘打ってみんなで助け合っている。連帯感とか、共同体

みたいな考えがあるのかもしれないね。

トッシンさん そうだね、助け合ってるよね。お祭りも好きだし、他の町と比べたら開放的かもしれないね。

前橋さん 助け合いで言ったら、協力隊の活動も、町の人みんな助けてくれる雰囲気を感じてます。大変さもわかってくれるっていうか。

トッシンさん そんなの、来てくれる人がみんないい人だからだよ！ちゃんと見てよ。

前橋さん この町に協力隊がいてあたりまえっていう感じになってきましたよね。

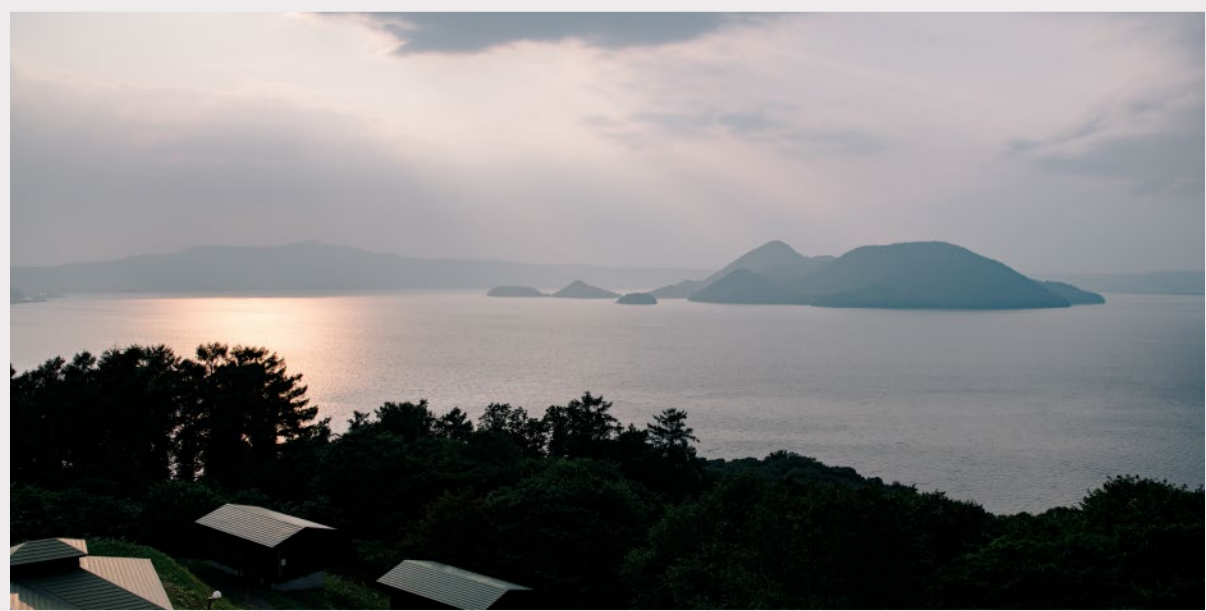
トッシンさん あたりまえっていうか、ありがたかって思ってるよみんな。だって、来る前と比べて町が明るくなったもの！

前橋さん それはこっちもありがたいです。広報に載せてくれたりとか、役場の人が後押ししてくれてるっていうのもありますけどね。

トッシンさん そうだね。協力隊が町に根付く上で大切なのは、町がどれだけ応援してくれるかっていう、それが一番大切なんじゃないかな。

前橋さん そうですね。壮瞥はそこがいいですね。トッシンさん だってさ、知らない土地に来てがんばろうって、限界あるでしょ。

前橋さん 自由にやらせてくれるのがいいです。トッシンさん だって、役場が協力的じゃなかったら、町民の私たちが怒りますから（笑）来てくれてるって思ってるんだもん。でも、そういうふうに見えるためには、まず役場が動かないと。そう



しないと、先が見えないよ。前橋さん そうですね。役場の方は、邪魔せず、温かく見守ってくれる人が多いです。

トッシンさん 町民も、助けるなんてことはできないけど、力になりたいって思ってるからね。だって、昔に比べてこの町は本当に寂しくなったんだよ。イベントとかお祭りもたくさんあったの。子どもも大人もみんなが楽しめるような。

前橋さん 今もある滝不動尊のお祭り、去年出ましたけど、神輿の担ぎ手も減ったと聞きました。みんな出ずっぱりだった。

トッシンさん ね。でも、やっぱりそうやって関わってくれるのがうれしいよね。移住したほうも、与えられるのを待ってるだけでもだめっていうか。

前橋さん お祭りに参加したりして、お互い歩み寄るのも大切ですよ。

トッシンさん そしてもう一つ大切なのは、何かやろうとしたときに、地域の人たちに「お願い」って言えるかどうか。

前橋さん そうですね、巻き込んでやることは多

いかもしれないですね。巻き込むし、巻き込まれるし。町の商工会とかも、協力隊にちゃんと声をかけてくれる。頼ってもらえたら、うれしいんです。トッシンさん そう、一緒にやる。それが大事。

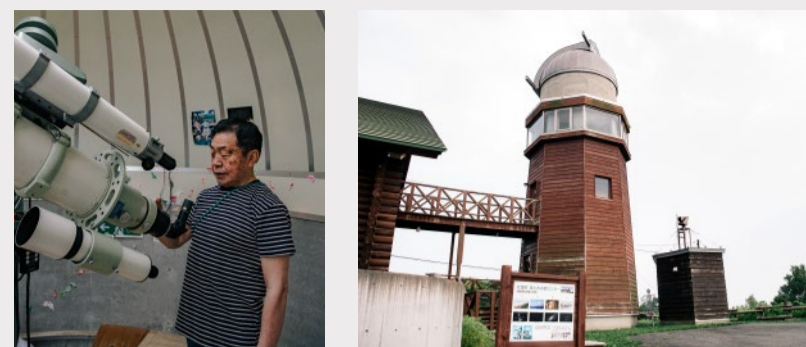
前橋さん あとイベントでいえば、ハロウィン！今年もやりたいなって思ってるんです。お店も増えたいね。

トッシンさん ヨツカド商店も、町にずいぶん馴染んだよね。場所がいいし、車も停めやすい。何度もお世話になってます。

前橋さん 気軽にいつでも来てもらえる場所にしたいですね。

トッシンさん 卒業してからやりたいことは決まってるの？

前橋さん 壮瞥って、移住者に来てほしいけど住める家の数は限られてるっていう課題があって。土地が限られているから、家を建てるのも難しいんですよ。だから、移住者だけじゃなくて、町に遊



びに来てくれる人を増やしたいなって思ってる。

トッシンさん うん。たしかにそうだね。

前橋さん 移住前からやりたかったんですけど、訪れてくれる人が壮瞥町に滞在できる宿を作りたいなって。

トッシンさん いいね！宿、昔はたくさんあったんだよ。飲んだ人が泊まって帰ったりしてたんだわ。

### 壮瞥

#### 森と木の里センター 天文台

▲ 壮瞥町東湖畔3-1  
毎週金曜日20時から、星を見る会（予約なし入場可）を行っています。

### ヨツカド商店通信

今回はコーヒー担当、前橋さんからのお便りです

### 日にチーズとコーヒーを

「チーズとコーヒーを組み合わせるとおいしいんだよ。ペアリングやってみない？」 そんな風な言葉が真希さんの口からでてきたのが約6年前。ものは試し、やってみよう！とあれこれ組み合わせを試してみました。すると、その相性の良さにびっくり！チーズを先に口に含み、少しもぐもぐしてからコーヒーを流し入れると、口の中で溶けているチーズに更にコーヒーが混ざり合い、それぞれを単体で楽しむ時とはまた違うおいしさを生み出してくれます。

しかも「このチーズにはこのコーヒー」とバチっとはまる組み合わせがあり、その組み合わせを見つけられたときはそのおいしさに悶絶！最高に幸せなおやつタイムになるのです。今ではヨツカド商店のメニューにも載せていて、気軽にいつでもコーヒーとチーズのペアリングを楽しんでもらえます。相性の良いチーズとコーヒーの組み合わせを探すときは、いつもワクワク。あれこれ試しながら決めていくのがとても楽しい。この過程こそ、実はみんなに体験してもらいたいコト！チーズもコーヒー豆も、ヨツカド商店で購入できます。その時々おすすめペアリング、ぜひ私たちに聞いてください。 チーズ担当：まき / コーヒー担当：ふみこ



### 壮瞥 ヨツカド商店

▲ 有珠郡壮瞥町滝之町385-11  
◎ 10:00~17:00（金曜日のみ21時まで）  
☎ 日・月曜  
📍 yotsukadoshouten



富田ファームのジャパンブルー × エチオピア ハンペラゴロ・ペデッサ ナチュラルのフレンチローストは今回のおすすめペアリング！華やかさが口の中で踊ります。

## ZERODAY コラム 自然にやさしい野外活動講座

### 原則その4

### 見たものはそのままに

きれいな石、植物、貝殻、文化的な遺産を見つけたら、どうしますか？ 他の訪問者とも感動を分かち合うためのポイントを紹介します！

Point.1 テントサイトは来た時のままに あなたが来た時と同じようにサイトを残しましょう。穴を掘ったり、落ち葉や石、倒木などを移動させたなら元通りにしましょう。

### Leave No Trace 7 原則

- 1. 事前の計画と準備 (Plan ahead and prepare)
- 2. 影響の少ない場所での活動 (Travel and camp on durable surfaces)
- 3. ゴミの適切な処理 (Dispose of waste properly)
- 4. 見たものはそのままに (Leave what you find)
- 5. 最小限の焚き火の影響 (Minimize campfire impacts)
- 6. 野生動物の尊重 (Respect wildlife)
- 7. 他のビジターへの配慮 (Be considerate of other visitors)

Point.2 生きている木や植物を傷つけない 木を折ったり、何かを打ち込むことは避けましょう。数本の花を摘んで持ち帰っても、環境に与える影響はほとんどありません。しかし全ての訪問者が、「ほんの少しだけ」と思った場合、そのダメージが蓄積し、いつかは取り返しのつかない大きなダメージとなります。

Point.3 自然物や文化的遺産を残す 奇岩、地層、鍾乳洞などの珍しい自然物は、美しいですが大変脆い場合もあります。次に来るビジターも同じ体験ができるように、触れずに楽しみましょう。国立公園やその他の保護地区で、これらの自然物の移動は違法となります。



花を摘む代わりに、写真を撮ったり、スケッチで残しましょう。

洞爺湖も国立公園でありユネスコ世界ジオパークに制定された立派な景勝地です。しかしウチダザリガニなど外来種の問題も多くあります。気になる方はZERODAYで熱く語り合えましょう！



## 洞爺湖温泉街の端っこで 地元客と観光客が交わる隠れ居酒屋



温泉街

## 居酒屋 ひろ

洞爺湖町洞爺湖温泉 78  
18:00~22:00  
不定休  
090-8900-7687



豚串 150円  
開店から継ぎ足され続けてきた  
タレがおいしい



焼きおにぎり 280円  
なんとびっくり、  
中にチーズが入っている！

洞爺湖温泉街の坂を上った先にある、黄色い看板に誘われて店内に入ると、焼き台を囲むコの字型のカウンターに肩を寄せ合って座るお客さんたちがいる。串を焼くのは店主の下妻久生さん。傍らで料理を選ぶのは妻の弘美さんだ。

「いつからお店を？」と尋ねると、「たしか 2002 年か 3 年の…」と斜め上を見つめる二人。「そういうの、テキトーでやってきたのよ！」と弘美さんが笑えば、常連客も釣られて笑う。

調理師免許を持ち、飲食店を渡り歩いてきた久生さんが「自分たちで始めよう」と看板を掲げた。「居酒屋ひろ」は奥さんの名前から取ったが、特に理由はないという。そんな“なんとなく”で始まったお店とは思えないほど、料理には丁寧な手仕事に光る。注文が入ったそばから調理し始める料理は、どれも心に沁みるほどおいしい。

2000 年噴火の後、静かだった温泉街で地元客が集う場となったこの店。コロナ禍を支えてくれたのも地元の常連客だった。「来てくれるお客さん一人ひとりを大事にしたい」という二人の思いが伝わり、ここを目的に訪れる観光客も増えた。地元客と観光客の間で自然と生まれる会話を聞きながら、目を細めながら串を焼く久生さん。洞爺湖温泉街の端っこで、今日もまた、小さな人情ドラマがひっそりと幕を開けている。

洞爺湖メイドの  
つくり手探訪

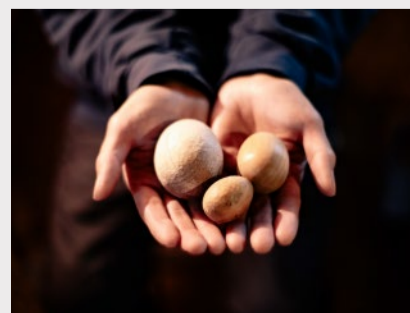
洞爺

## ゴンさん

【木工好き】

@ tomoda\_chicken\_garden

2008 年に洞爺湖へ移住し、パン屋「ラムヤート」の職人として働き始める。2 年前から「友田鶏園」として小さな養鶏をスタート。田舎暮らしをきっかけに、自分の手を動かしてものを作ることに楽しさに目覚め、薪用の木や端材を使って、身の回りの皿やカトラリーを手づくりするように。「コピト祭り」に来る子どもたちの笑顔の思い浮かべながら、日々作品づくりに取り組んでいる。

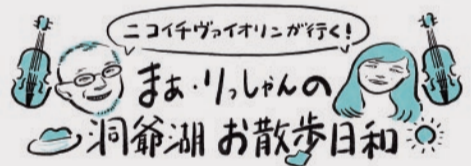


一つひとつ卵の形が違うのは、鶏たちと暮らすゴンさんだからこそ。



剪定した枝から作る看板商品の「小さじ (700 円)」。ちょっとした調味料を取り出すのに便利。ラムヤートで購入可。

2021 年に洞爺湖町へ移住した、仲良し音楽家夫婦のまあとりしちゃん。無償で演奏を申し自宅へ行う「ウーバーミュージック」やコンサートなどを実施。



季節の移ろいととも、さまざまな表情を見せてくれる洞爺湖。移住して3年半が経った今も、その美しさに魅了され続けています。なかでも、湖面が鏡のように静まるひとときは、何度出会っても胸が高鳴る特別な瞬間です。我らが編集長・たまちゃんに撮影していただいたあの日の湖も忘れられません。最高のロケーションに、なんと二羽の白鳥さんまで登場してくれて…！まるで湖の女神さまからの素敵な贈り物のようでした。「ここは本当に、いいところだね。」ニコイチは、今日も湖畔で深呼吸をしています。



## ニコイチヴァイオリン

2021 年に洞爺湖町へ移住した、仲良し音楽家夫婦のまあとりしちゃん。無償で演奏を申し自宅へ行う「ウーバーミュージック」やコンサートなどを実施。

@ nicoichiviolin

## 自然を満喫できる小さな村のような空間を、 ここ虻田町に。

text &amp; photo by Lamy Nakamura

菅松 剛士さん (50)・ゆう子さん (53)・  
凜子ちゃん (9)・ユメコ (2)

アパレルブランドに勤務していた剛士さんと、ディスプレイデザイナーの仕事をしていたゆう子さん。二人とも、東京で忙しい毎日を送っていた。コロナの時期にオンラインでの仕事が可能になり、凜子ちゃんの小学校入学やゆう子さんの親戚が北海道に住んでいるということもあり洞爺湖への移住を決めた。いまでも、移住したというよりも引っ越しという感覚に近いという。

剛士さんは、移住と同時に大好きな本と酒の店「BACKWOOD」を始めることを決めていた。

剛士さんは店を営みつつ、薪になる資材を調達するために山へ、ゆう子さんは東京に出稼ぎへという生活を二年ほど続けていたが、あることがきっかけで今のライフスタイルへと変わる。それは、自宅にある栗の木だ。収穫期を迎えて木から落ちた栗は、

場所	洞爺湖町虻田地区
移住年	2020 年
きっかけ	子どもの進学、働き方の変化
場所の探し方	まず賃貸に住み、足で探す

放置すると虫が入ったり湿気でダメになったりしてしまうため、すぐに捨たなければいけない。けれど時間がなくて後ろ髪を引かれる思いで東京へ向かったゆう子さん。ビル街を歩きながら、頭の中は栗のこととつぶやいていた。この出来事をきっかけに、徐々に洞爺を拠点とした仕事へと切り替える決心ができたという。それと同時に、無農薬についての知識を深め、自宅にある果樹を無農薬で育てることに楽しみを見出すようになった。これから、洞爺に来て心惹かれるようになったライフスタイルを発信する店を始める予定だ。

いつの間にか、洞爺湖町に住んで 5 年が経っていた。毎度魅了させてくれる自然が、ここに移住してよかったと思わせてくれるという。地域の方々が新鮮な魚やジビエを手土産で持ってきてくれること

BACKWOOD の  
湖畔で読みたい本

虻田

## BACKWOOD

洞爺湖町入江 265-55  
12:00~17:00  
月曜  
backwood.jp



## この星で生きる理由

過去は新しく、未来はなつかしく

著：佐治晴夫 (アノニマスタジオ)

湖を眺めていると、ぼーっとしたり、つい人生について考えたり。宇宙と地球と自然と、自分がちゃんと繋がっていること。自分の立ち位置はこれで大丈夫、とそっと背中を押してくれるような、美瑛に天文台を構える佐治先生のエッセイ集。

だから私たちは  
洞爺湖に来た

もあり、「道民より道民らしい暮らしをしてるかも」と笑う。東京にいたころは土で手が汚れることすら嫌だったという凜子ちゃん。「東京よりも楽しいよ」と言いながら、姉妹のような存在の保護犬ユメコと丸太に登ったり、堆肥のことを詳しく教えてくれたりと全身で自然を堪能しながら遊ぶ姿を見せてくれた。

「BACKWOOD を囲んで、時間を忘れて過ごせる小さな村のような場所を作りたい」と二人。湖から少し離れた洞爺湖町のはずれ。ひっそりと佇むこの場所に、大きな夢を描く準備が着々と進んでいる。二人の掛け合いで作り上げられるもの、そして凜子ちゃんとユメコも合わせた 4 人がこれから魅せてくれる世界が楽しみでならない。

知られざる  
洞爺湖ストーリー

甘酸っぱさの奥に息づく、  
70 年つながれた赤しそのタネと、  
人の手しごと。

実は、洞爺は道内有数の赤しその産地って知っていましたか？ その背景には、人知れず種を守り、つないできた人たちの存在があります。洞爺湖のほとりで、静かに受け継がれてきた赤しそのタネ。もとは青森から嫁いできた女性が、この地に大葉赤しそのタネを持



洞爺

## ピュアフルーツとうや

洞爺湖町洞爺町 59-4  
9:00~17:30  
土日祝

道の駅あぶたやとうや水の駅など、近隣の施設にて販売中。実は本社の中でも購入できます！原液やサイダーなどの種類も豊富。温泉上りに飲むのがオススメです！



ち込んだのがはじまりだったといいます。以来およそ 70 年、農家たちが交雑を避けながら自家採種を重ね、「いい種」を選び続けてきました。

しそは繊細で、少しの環境の違いでも味や香りが変わってしまう作物。だからこそ、ここがしその産地となり、守られ育ち続けてきた背景には、丁寧に「つなごう」とする人の存在がありました。香りがよくえぐみが少ない赤しそを一枚ずつ丁寧に手摘みし、後味すっきりとしたジュースなどの加工品をつくっているのが「ピュアフルーツとうや」です。

地域の農産物に付加価値をつけようと、行政主導で始まり、いまでは地元の農業者による民間で支えられています。ジュースの原料となるしそも、代表の佐伯さんが現在は自ら育てているそう。知られざる手間と時間が詰まった、洞爺のしそジュース。甘酸っぱいジュースを一口飲むたび、この土地と人の静かな営みに、そっと想いを馳せたくります。



仲洞爺

居住歴 83 年

## 田鍋 良憲さん (83)

農家の四代目。初代は四国からの地に入植し、二代目は農業のほかには旅館や商店も営んでいた。今年からは仕事を農業一本に絞り、稲作にも小さくチャレンジする予定。

## この町をつくった

## 人と写真

この土地で生きてきた  
家族の時間を守り、耕していく

私が子どもの頃はね、ここに日鉄の鉱山があって、200 人くらいは人が住んでいたんだよ。閉山して人が出てって、今じゃ 33 戸くらいかな。子どもも 2 人しかいなくなっちゃった。あの頃は本当ににぎやかだったな。獅子舞のお祭りもあってさ。あれがコロナをきっかけに無くなってしまったのは、ほんと寂しいもんだね。



19 歳のときに、母親が札幌で下宿をやるって言い出して、長男の自分が一人でここに残ることになった。父親のやっていった農業を継いだんだ。夏は馬を切って畑を切り出して、出た木材は船で洞爺湖を渡って、温泉街の駅まで運んだもんだ。景気も良くて、温泉街に遊びに行くことも多かったよ。

でも、時代が変わってトラクターの時代になってからだな。狭い畑や傾斜のある土地じゃ機械が使いにくくて、だんだん景気も落ち込んできた。それからは兼業でやってきたよ。

いい時代も、苦しい時代もあったけど、どこにも行かずにここで暮らしてきた。ところがそんな良いのか、言葉にするのは難しいんだけど、目の前の仲洞爺キャンプ場に、観光客がずらりと並んでるのを見ると、「ああ、やっぱりいい場所なんだろな」とって思うんだ。親から譲ってもらったこの土地を、どんな大変でも一度も手放さうとは思わなかった。この場所を守っていききたい。そんな気持ち、今も変わらずにあるんだ。